



責任ある 旅行者になる ためのヒント

#STAYHEALTHYTRAVELRESPONSIBLY



はじめに

「私たちは美しく魅力的で冒険に満ちた素晴らしい世界に生きている。常に目を開き、探求する心を持ち続けられ、私たちの冒険に終わりはない。」

Jawaharlal Nehru (ジャワハルラル・ネルー)

壮大なメコン川をボートでゆっくりと進む。モロッコの屋台で本物のモロッコ料理を味わう。アンコールやマチュピチュの遺跡群にたずみ、人生の神秘に思いを馳せる。システィーナ礼拝堂やアルハンブラ宮殿の美術品を鑑賞する。

世界の多様性は私たちをひとつにし、その土地の文化や地域の一番の魅力を発見・体験する機会をもたらしてくれる。

あなたの旅先が熱帯のビーチでも、活気に満ちた都市でも、あるいは静かな村であっても、**責任ある行動を取れば、受け入れてくれる地域からも敬意を受けるだろう。**私たちの世界を、そして、私たちそれぞれを際立たせているものすべてを尊重すれば、旅の体験が広がっていくだろう。

ここで紹介する実用的なヒントはあなたの旅を、あなた自身やあなたが会える人々、あなたが訪れる場所にとって価値のあるもの、安全なものにしてくれるだろう。



旅先に住む人々に敬意を 払い、私たちの共有遺産 を大切にしよう

旅立つ前に**旅先の事**を調べて、**現地の慣習、伝統、社会様式を知っておこう**。それはその地域を理解するうえで有効であり、旅の体験を生き活きとしたものにしてくれるはず。

現地の言葉を二言三言でも話せるようにしよう。これは、あなたと地域の人々とのつながりを後押しし、より意味のあるものにしてくれるだろう。

旅先を多様で個性的なものにしている歴史や建築、宗教、服装、コミュニケーションの作法から音楽、芸術、料理に至るまでを**体験し、そのすべてを尊重**しよう。

他人を撮影する時は、**必ず事前に許可を得よう**。あなたと同様にプライバシーがあるのだから。希望の写真を撮るために金銭の提供をするのはやめよう。

現地の生活事情や習慣を批判する前に、**しっかり立ち止まって考えてみよう**。耳を傾け、先入観を捨てよう。

すべての観光施設で、スタッフやサービス提供者に**礼儀をもって接し、敬意を払おう**。



私たちの地球を守ろう

自然資源、とりわけ森や湿地を保護し、環境への影響を軽減しよう。

野生動植物とそれらの生息地を尊重しよう。動物を用いたアトラクションでは虐待行為につながっている可能性があります。

絶滅危惧種の動植物や持続可能ではない木材で作られた製品を買うのはやめよう。

保護地域では、許可された場所にしか立ち入らないようにしましょう。
「立入禁止区域」を見つけるために地域の人にお金を渡すのはやめよう。

環境に優しい宿泊施設に泊まろう。また、沢山の魅力がある地方に行こう。

廃棄物、使い捨てプラスチック、水とエネルギーの消費量を削減し、二酸化炭素排出量の削減のために交通機関の利用計画を立てよう。

旅先には良い印象以外、できるだけ何も残さないようにしましょう。



地域経済をサポートしよう

適正な価格を支払うことで地域の販売者や職人の生活を尊重しよう。**地元で作られた工芸品や製品を購入しよう。**

偽造品や国及び国際規制によって禁じられた製品を買うのはやめよう。

地域のガイドを雇い、**地域のビジネス**にお金を使おう。また、**チップの習慣**を理解しよう。

多様性と平等を受け入れる企業を支援しよう。

定番の観光地以外の場所にも足を運んで、**ゆったりとした時間を過ごそう。**



安全な旅をしよう

安全・衛生上の注意事項を守り、疑問があれば各国当局に相談しよう。

ビザの取得条件や旅行保険の細部にも目を通そう。

キャンセル料と旅行者の権利を把握しよう。

感染症が流行している間は「ソーシャルディスタンス」を実践しよう。人混みを避け、安全に関する通知を活用しよう。

緊急事態に備えて、病院や大使館の連絡先を知っておこう。



旅先の情報に通じた旅人 になろう

ボランティアツーリズムに参加する際には、事前に**十分調査**をしておこう。

その土地の環境政策と地域でのプロジェクトをしっかりと考えている**観光事業者**を選ぼう。環境に優しく、また、倫理的に見える取組であっても、働きがいのある人間らしい仕事の条件を提供していないものもあります。

その国の法律と規制を守ろう。地域のルールを守り、「**プライベートの空間**」を尊重しよう。

人権を尊重し、子どもを搾取から守ろう。子どもの虐待は犯罪です。

物乞いをする子どもにお金を与えるのはやめて、代わりに**地域のプロジェクト**を支援しよう。

楽しみながらも、地域の人々と彼らのライフスタイルを尊重しよう。彼らと**交流**することで、**文化**を理解しよう。

旅の記念には、保護された文化的工芸品の**写真**を撮ろう。



デジタルプラットフォーム をうまく活用しよう

旅に出る前に、旅先に関するオンラインレビューやブログを確認しよう。

旅から戻ったら、正直な旅の評価を発信し、ソーシャルメディアでその体験を広めよう。

他の人が写った自撮りや写真を投稿する前によく考えてみよう。
また、合意を得てから投稿しよう。

あなたが知っている非営利事業や地域のプロジェクトを支持しよう。

不正、搾取、差別があれば報告しよう。



観光をより良い方向に導き、他の旅行者のお手本になろう！

責任ある旅行者になるためのヒント(The Tips for a Responsible Traveler)は、国連世界観光機関(UNWTO)が提唱する[世界観光倫理憲章](#)の条項の解釈、適用及び評価する責任を担っている中立的な機関である[世界観光倫理委員会](#)によって作成されたものです。

これらヒントの起草のきっかけとなったUNWTO世界観光倫理憲章は、責任ある持続可能な観光を目指す基本的な枠組みです。この憲章は1999年のUNWTO総会で採択され、その2年後の国連総会で承認された包括的な行動規範であり、観光の発展に重要な役割を担う政府や観光業界、デスティネーション、地域、観光客にとって指針となるものです。

世界観光倫理憲章の9つの中核原則を中心に構築された[観光倫理条約](#)が、2019年のUNWTO総会で採択されました。[世界観光倫理委員会](#)は、このUNWTO初の国際条約の実施におけるモニタリングを委託されています。



